

東西南北

満開のあじさいに満足  
オール名鉄革新懇

山いっばいに咲くあじさい祭りの形原温泉、参道のあじさいが見事な本光寺を目的としたハイキングでしたが、期待通りのあじさいが見られました。形原温泉は周囲の山いっばいに5万本が植えられており、その規模は格別です。本光寺は庭いっばいに手入れの行き届いた色とりどりのあじさいが見事に咲き誇っていました。途中ルートは、と

きどき涼しい風が吹く何とも言えぬハイキング日和でした。わが革新懇から4名が参加してハイキングを楽しみました。(オール名鉄革新懇ニュースより)



第25回総会開く

春日井革新懇

6月16日、レディヤン春日井で春日井革新懇第25回総会を開きました。

第一部 学習「愛知県政について考える」のテーマで内田謙春日井市議を講師で学習しました。

内田氏は、2期目の大村県政の特徴として①大企業奉仕・大型開発中心②県民のくらし・福祉はないがしろの2点をあげ

日本共産党以外のオール与党体制を批判、来るべき県議会選挙で県民要求実現のため強大な日本共産党県議団が必要であることを強調しました。(春日井革新懇ニュースより)

安倍改憲を葬り去る送り火ウオーク

瑞穂区革新懇

「安倍改憲NO!憲法を生かす全国署名を進める瑞穂区の会」は、安倍退陣をと8月15日、秋葉神社に集合し新瑞橋まで



安倍改憲を葬り去る送り火ウオーク

送り火ウオークを行いました。

当日は曇り空でいつもより涼しい!「天は我らに味方してくれた」と準備を始めると「千種区から来ました」と親子での参加。「ストップ改憲マアクションあいち」など41名が参加しました。はじめに、この間のみずほ九条の会会員3人と

沖繩の翁長さんの逝去を悼み黙祷。戦争させない瑞穂区の会共同代表・見崎徳弘さんからは「任期中の改憲に執念を燃やす安倍首相の下で、改憲国会発議かねらわれている」「二度と戦争しない、軍隊は持たないと世界に宣

言した憲法九条が危機にある。戦争しない日本を守る」と力強い挨拶。その後、林幸子さんの原爆の詩「ヒロシマの空」をもとにつくられた♪サラサラ♪をトランペットの演奏と歌で出発集会を終え、意気高くデモ行進がスタートしました。

沿道の皆さんに呼びかける言葉とシユプレヒコールそしてトランペットの演奏がハーモニーを作り出し、楽しい行進になりました。ご協力いただきましたみなさんに感謝です。ありがとうございました。(安保関連法廃止 戦争させない瑞穂区の会ニュースより 水谷映子)

8月平和を考える会  
愛西市未来をひらく会

8月26日、愛西市未来をひらく会は平和のつどいを開きました。今年は宗教者九条の会で活躍し、県の革新懇の代表世話人の石川さんに「仏教徒にとっての憲法九条」につ



8/26 愛西市 会の様子

いてお話しいただきました。積尊の言葉や経典を引用しながら、無量寿経の「兵戈無用、崇徳興仁、務修礼讓」とはまさに憲

法九条に通じる教えです。過去、教団が犯した戦争協力にも触れながら、九条を変えようとしている安倍政権を退場させるためにも三千万署名の大切さを話していただきました。質問もたくさんあり、日頃、宗教に無頓着な私達にも新鮮に感じました。その後、とても美味しいスイトンをみんなで食べました。(浜崎裕功)

10・30「講演と文化の夕べ」  
前川喜平講演会 推進委員会



10月30日「講演と文化の夕べ—前川喜平講演会」を開催します。成功にむけて、革新・愛知の会ではこの間2回にわたり推進委員会を開催。推進委員会では、3000万署名を

進め安倍改憲NOの運動とともに、成功させようと論議。前川さんへの期待は高く、革新・愛知の会インタビュー(八王子中学校長上井さん)等も活用して31枚普及(中川革新懇)、団体で20枚普及してくれた(南区革新の会)など積極的な取り組みを交流し推進していくことを確認しました。

### 福山真劫さんが講演

#### 「改憲発議をさせないために今何をなすべきか」

安倍9条改憲NO！市民アクションあいちの集会在8月25日夜にウインクあいち1002号室で開催。総がかり行動実行委員会の共同代表の福山真劫さんが講演。

戦後最大の平和・民主主義崩壊の危機のなか、3000万人署名、憲法9条改悪阻止、沖縄辺野古新基地建設阻止、東アジアでの非核・平和の確立を軸に取り組みをと強調されました。

参議院選挙での真の野党共闘の実現へと総がかりを超える総がかりへさらに大きく輪を広げる運動をと強調されました。



**瑞穂区**  
めっちゃ暑いけど、  
がんばるまいか！  
瑞穂区の個人と13の団体  
よびかけ、7月13日、3  
000万署名のこれまでと  
これからについて交流しま  
した。参加者は8団体11人  
でした。  
革新・愛知の会事務室の

岩中美保子さんから全国と愛知の取り組みが報告されました。この間の取り組みで、右・左といわず安倍政権はもういい、個人の尊厳を大切にしたい・してほしいという市民の一大運動が起きているとのこと。しかし一方ではフェイクと政治ネタのビジネスネットに若者がからめとられ、有権者の半数があきらめ・無関心で選挙を棄権している、と言われました。

区内1万筆を達成したみんなの頑張り进行交流。交流では個人のご近所訪問、親戚、いとこ、友人とあらゆるつながりで「署名」を縁に温故知新での楽しい交流や、団体で取り組んだ団地訪問、新瑞福祉会の職員丸ごと連続学習会、沖縄の映画「標的の村」で憲法9条をそれぞれ自分に引き寄せ職員全員が署名に取り組めたこと。今後も持続して取り組みことや、園内で9月には「平和の集い」の開催を決めたなどの報告があり、励まされました。(安保関連法廃止戦争させない瑞穂区の会通信より)

### 近ごろ 思う こと 49

瀬川あすか

(STOP改憲ママ  
アクション@愛知)



この原稿を書いている今日は、子どもたちの夏休み最終日。そして、夏休み明けが18歳以下の若者の自殺が一番多い時期だといえます。今、学校に行けない自分を責めている子どもが多くいると思うと居ても立ってもいられない気持ちになります。子どもたちにとって、

およそ世界は「家」と「学校」だけになりがちです。学校でいじめなどトラブルが発生すると、もう世界が終わるような状況に追い込まれます。本当は外には広い世界が存在していて、学校はほんの小さな社会なのです。が、学校システムに組み込まれている子どもには

#### 生き方の多様性を 認めること みんなが生きやすい 社会への第一歩

行きたくない、と言ったらどうするか？  
そもそも学校に行かなければいけませんか？フリースクール、在宅学習など学びの選択肢は様々あります。  
同調圧力に満ち、ブラック校則が蔓延する学校から飛び出すことで見える世界があります。  
大人が子どもを丸ごと認め、生き方の多様性を認めることが、みんなが生きやすい社会への第一歩。  
生産性で人の価値をはかるなんて言語道断です。言葉ほど簡単ではないでしょうが、私は「学校に行かなくても大丈夫、好きなこと見つけよう」と子どもを後押ししてあげたいです。

今日、子どもたちの夏休み最終日。そして、夏休み明けが18歳以下の若者の自殺が一番多い時期だといえます。今、学校に行けない自分を責めている子どもが多くいると思うと居ても立ってもいられない気持ちになります。子どもたちにとって、

瀬川あすかさんは、2018年4月号インタビューに登場され、「子どもたちに憲法のある社会を手渡したいー政治が変われば生活が変わる」と語っていただきました。